

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	東海北陸自動車道（白鳥～飛騨清見）
事業主体	国土交通省及び中日本高速道路株式会社

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	費用便益比（B/C）=1.5 （経済的純現在価値（B-C）=1,697億円、経済的内部収益率（EIRR）=7.1%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 （対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの根拠	
1. 活力 円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	推計年度（H42）削減量 3（百万人・時間/年） 削減率 0.07% 定量的評価指標の算出方法（案）準用	
	□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される		
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される		
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	高山市から名古屋駅、160分⇒125分	
	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる		
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	高山駅からセントレア、200分⇒165分	
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	高山駅から名古屋港、175分⇒140分
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	飛騨牛（岐阜県内）、主に岐阜県内や東海地方に出荷、高山駅→名古屋駅 160分⇒125分
□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する			

1. 活力

都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
	<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
	<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
	<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
	<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
	<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
	<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
	<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
	<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	岐阜市と高山市
	<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	高山市と郡上市 一本自動車道、国道156・158号、岐阜県道73号高山清見線などの「せせらぎ街道」
	<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
	<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	郡上市から高山市、100分⇒65分
個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
	<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	高山市…日本のふるさと飛騨リゾートゾーン整備構想、飛騨東部地域産業振興プロジェクト 郡上市…交通新時代交流促進キャンペーン、豊かで強い山国づくり緊急プロジェクト
	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	高山市（高山地域：H19年間観光客入り込み数265万人） 白川村（白川郷合掌造り集落：H19年間観光客入り込み数124万人）
	<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
	<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
	<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	

2. 暮らし	歩行者・自転車 のための生活空間の 形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による 美しい町並みの 形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できる くらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	郡上市から高山赤十字病院（100分→65分）	
3. 安全	安全な生活環境 の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	岐阜県の災害防災計画に緊急輸送道路として位置づけ
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	名神・北陸道（一宮JCT～米原JCT～小矢部砺波JCT間） 名神・東名・中央道・長野道・上信越道・北陸道（一宮JCT～小牧JCT～岡谷JCT～更埴JCT～上越JCT～小矢部砺波JCT間）
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：3.7万t/年
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	排出削減量：295.3t/年、排出削減率：0.092%削減
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	排出削減量：14.0t/年、排出削減率：0.083%削減
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	

5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
東海北陸自動車道	白鳥～飛騨清見	L=41km	高速自動車国道	4車線化

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
12,500～14,000	4	国道交通省及び 中日本高速道路(株)

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成21年度		
単純合計	2,358億円	929億円	3,287億円
うち残事業分	517億円	147億円	665億円
基準年における 現在価値(C)	3,113億円	566億円	3,679億円
うち残事業分	489億円	59億円	547億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成21年度			
供用年	平成12年度			
単年便益 (初年便益)	127億円	29億円	10億円	165億円
基準年における 現在価値(B)	4,124億円	941億円	310億円	5,376億円
うち残事業分	510億円	90億円	23億円	623億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.5
経済的純現在価値（事業全体）	1,697億円
経済的内部収益率（事業全体）	7.1%
費用便益比（残事業）	1.1
経済的純現在価値（残事業）	76億円
経済的内部収益率（残事業）	5.7%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	12,500~14,000	±10%	1.0~1.3
事業費	3,679億円	±10%	1.0~1.2
事業期間	3年	±1年	1.1~1.2

交通状況の変化 (事業全体)

様式-3①

事業名：東海北陸自動車道(白鳥～飛騨清見)

(推計時点 H42 年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	13,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	28	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	92	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道156号:48.1km	交通量	[台/日]	7,400	4,850
		走行時間	[分]	72	67
		走行時間費用	[億円/年]	132	76
	国道158号:46.5km	交通量	[台/日]	6,900	4,900
		走行時間	[分]	55	53
		走行時間費用	[億円/年]	99	69
	国道472号:31.2km	交通量	[台/日]	18,400	12,500
		走行時間	[分]	38	32
		走行時間費用	[億円/年]	184	107
	高山清見線:34km	交通量	[台/日]	16,900	10,950
		走行時間	[分]	41	35
		走行時間費用	[億円/年]	186	106
③その他道路合計	走行時間費用	[億円/年]	626,444	626,392	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：127,206km	走行時間短縮便益	[億円/年]	627,045	626,843	202

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

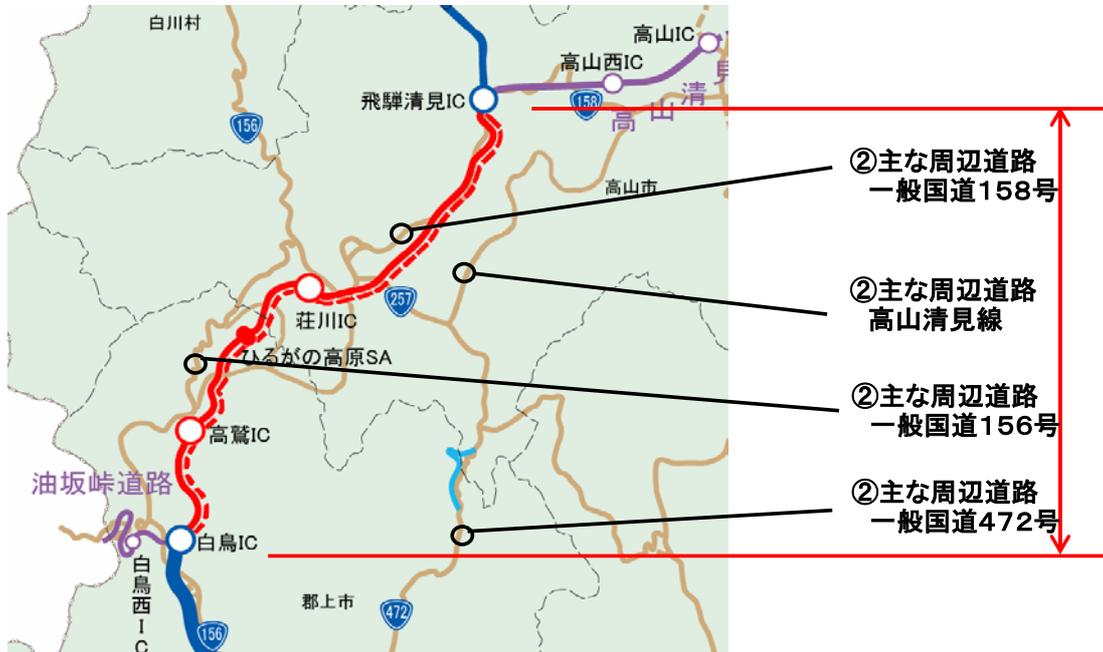
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化 (残事業)

様式-3①

事業名：東海北陸自動車道(白鳥～飛騨清見)

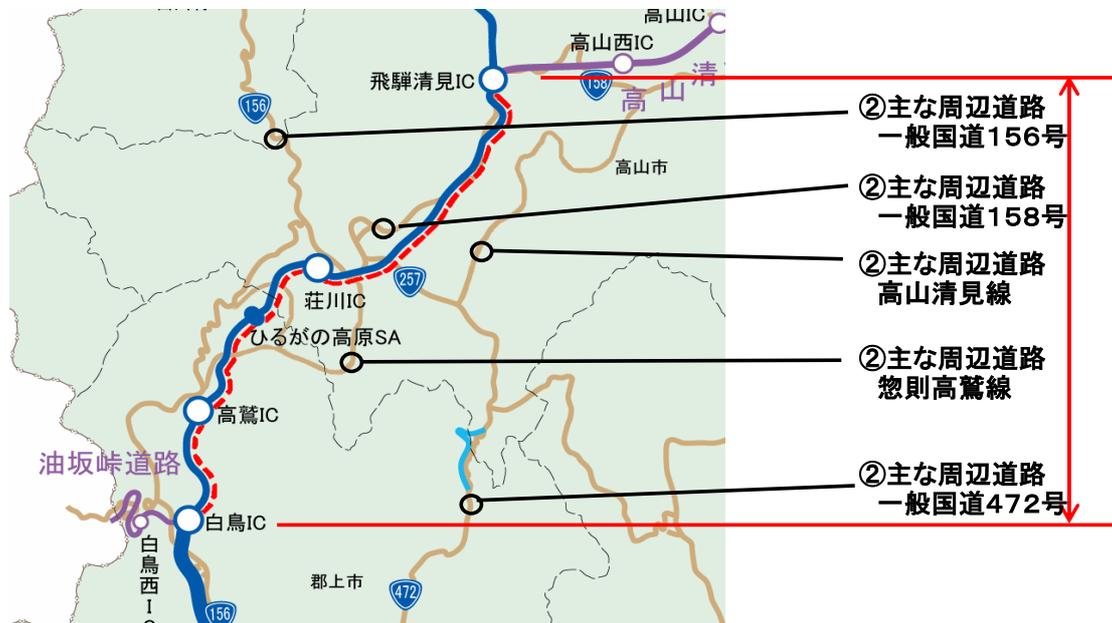
(推計時点 H42 年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路	交通量 ^{※1}	[台/日]	11,500	13,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]	32	28	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	92	92	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道156号:48.1km	交通量	[台/日]	5,100	4,850
		走行時間	[分]	69	67
		走行時間費用	[億円/年]	84	76
	国道158号:46.5km	交通量	[台/日]	5,000	4,900
		走行時間	[分]	54	53
		走行時間費用	[億円/年]	72	69
	国道472号:31.2km	交通量	[台/日]	13,200	12,500
		走行時間	[分]	34	32
		走行時間費用	[億円/年]	122	107
	高山清見線:34km	交通量	[台/日]	11,700	10,950
		走行時間	[分]	37	35
		走行時間費用	[億円/年]	119	106
③その他道路合計	走行時間費用	[億円/年]	626,381	626,392	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：127,206km	走行時間短縮便益	[億円/年]	626,869	626,843	27

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名: 東海北陸自動車道(白鳥～飛騨清見)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成21年度	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
転換率式を用いた配分		<input type="checkbox"/>	
Q-V式と転換率式の併用による配分		<input checked="" type="checkbox"/>	
均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		<input type="checkbox"/>	
簡易手法		<input type="checkbox"/>	
簡易手法の採択理由		小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	その他()	<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載	配分条件であるQV式に基づく配分交通量(日交通量)の走行速度を採用	
その他	センサスデータを使用し、高規格道路の速度は道路種別・車線当たり交通量から設定。また一般道の速度は、沿道条件・交差点密度等の道路条件を考慮し設定。	<input checked="" type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input checked="" type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載 当該区間は、休日交通量が平日交通量と大きく異なるため、平日と休日の交通量比を休日係数として設定	(188) %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

				維持管理費の単純単価の算出					
箇所名: 東海北陸自動車道(白鳥～飛騨清見)				単価(億円)		延長(km)		単純価値(億円)	
				-		41		-	
年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)			
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値		
-12年目	S 63	2.2788	102.5	0	0				
-11年目	H 1	2.1911	105.5	3	6				
-10年目	H 2	2.1068	108.0	3	6				
-9年目	H 3	2.0258	111.0	6	12				
-8年目	H 4	1.9479	112.4	17	29				
-7年目	H 5	1.8730	112.9	31	51				
-6年目	H 6	1.8009	112.8	52	83				
-5年目	H 7	1.7317	112.1	120	186				
-4年目	H 8	1.6651	111.6	154	230				
-3年目	H 9	1.6010	112.6	300	426				
-2年目	H 10	1.5395	112.1	419	575				
-1年目	H 11	1.4802	110.5	370	495				
暫定供用開始年次	H 12	1.4233	108.7	127	167	16	21		
1年目	H 13	1.3686	107.3	11	14	16	21		
2年目	H 14	1.3159	105.3	14	18	16	20		
3年目	H 15	1.2653	104.0	10	12	16	20		
4年目	H 16	1.2167	102.9	20	23	16	19		
5年目	H 17	1.1699	101.6	5	6	16	19		
6年目	H 18	1.1249	100.9			16	18		
7年目	H 19	1.0816	100.0			16	18		
8年目	H 20	1.0400	100.0			16	17		
9年目	H 21	1.0000	100.0	60	60	16	16		
10年目	H 22	0.9615	100.0	349	336	16	16		
11年目	H 23	0.9246	100.0	443	410	16	15		
完成供用開始年次	H 24	0.8890	100.0			19	17		
13年目	H 25	0.8548	100.0			19	16		
14年目	H 26	0.8219	100.0			19	16		
15年目	H 27	0.7903	100.0			19	15		
16年目	H 28	0.7599	100.0			19	15		
17年目	H 29	0.7307	100.0			19	14		
18年目	H 30	0.7026	100.0			19	14		
19年目	H 31	0.6756	100.0			19	13		
20年目	H 32	0.6496	100.0			19	13		
21年目	H 33	0.6246	100.0			19	12		
22年目	H 34	0.6006	100.0			19	12		
23年目	H 35	0.5775	100.0			19	11		
24年目	H 36	0.5553	100.0			19	11		
25年目	H 37	0.5339	100.0			19	10		
26年目	H 38	0.5134	100.0			19	10		
27年目	H 39	0.4936	100.0			19	10		
28年目	H 40	0.4746	100.0			19	9		
29年目	H 41	0.4564	100.0			19	9		
30年目	H 42	0.4388	100.0			19	8		
31年目	H 43	0.4220	100.0			19	8		
32年目	H 44	0.4057	100.0			19	8		
33年目	H 45	0.3901	100.0			19	8		
34年目	H 46	0.3751	100.0			19	7		
35年目	H 47	0.3607	100.0			19	7		
36年目	H 48	0.3468	100.0			19	7		
37年目	H 49	0.3335	100.0			19	6		
38年目	H 50	0.3207	100.0			19	6		
39年目	H 51	0.3083	100.0			19	6		
40年目	H 52	0.2965	100.0			19	6		
41年目	H 53	0.2851	100.0			19	5		
42年目	H 54	0.2741	100.0			19	5		
43年目	H 55	0.2636	100.0			19	5		
44年目	H 56	0.2534	100.0			19	5		
45年目	H 57	0.2437	100.0			19	5		
46年目	H 58	0.2343	100.0			19	5		
47年目	H 59	0.2253	100.0			19	4		
48年目	H 60	0.2166	100.0			19	4		
49年目	H 61	0.2083	100.0	-156	-33	19	4		
合計				2,358	3,113	929	566		
単純事業費計				2,358		929			

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出

箇所名:東海北陸自動車道(白鳥～飛騨清見)

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				単価(億円)		延長(km)	
				-	41	-	-
-3年目	H 21	1.0000	100.0	36	36		
-2年目	H 22	0.9615	100.0	212	204		
-1年目	H 23	0.9246	100.0	269	249		
完成供用開始年次	H 24	0.8890	100.0			3	3
1年目	H 25	0.8548	100.0			3	3
2年目	H 26	0.8219	100.0			3	2
3年目	H 27	0.7903	100.0			3	2
4年目	H 28	0.7599	100.0			3	2
5年目	H 29	0.7307	100.0			3	2
6年目	H 30	0.7026	100.0			3	2
7年目	H 31	0.6756	100.0			3	2
8年目	H 32	0.6496	100.0			3	2
9年目	H 33	0.6246	100.0			3	2
10年目	H 34	0.6006	100.0			3	2
11年目	H 35	0.5775	100.0			3	2
12年目	H 36	0.5553	100.0			3	2
13年目	H 37	0.5339	100.0			3	2
14年目	H 38	0.5134	100.0			3	2
15年目	H 39	0.4936	100.0			3	1
16年目	H 40	0.4746	100.0			3	1
17年目	H 41	0.4564	100.0			3	1
18年目	H 42	0.4388	100.0			3	1
19年目	H 43	0.4220	100.0			3	1
20年目	H 44	0.4057	100.0			3	1
21年目	H 45	0.3901	100.0			3	1
22年目	H 46	0.3751	100.0			3	1
23年目	H 47	0.3607	100.0			3	1
24年目	H 48	0.3468	100.0			3	1
25年目	H 49	0.3335	100.0			3	1
26年目	H 50	0.3207	100.0			3	1
27年目	H 51	0.3083	100.0			3	1
28年目	H 52	0.2965	100.0			3	1
29年目	H 53	0.2851	100.0			3	1
30年目	H 54	0.2741	100.0			3	1
31年目	H 55	0.2636	100.0			3	1
32年目	H 56	0.2534	100.0			3	1
33年目	H 57	0.2437	100.0			3	1
34年目	H 58	0.2343	100.0			3	1
35年目	H 59	0.2253	100.0			3	1
36年目	H 60	0.2166	100.0			3	1
37年目	H 61	0.2083	100.0			3	1
38年目	H 62	0.2003	100.0			3	1
39年目	H 63	0.1926	100.0			3	1
40年目	H 64	0.1852	100.0			3	1
41年目	H 65	0.1780	100.0			3	1
42年目	H 66	0.1712	100.0			3	0.5
43年目	H 67	0.1646	100.0			3	0.5
44年目	H 68	0.1583	100.0			3	0.5
45年目	H 69	0.1522	100.0			3	0.4
46年目	H 70	0.1463	100.0			3	0.4
47年目	H 71	0.1407	100.0			3	0.4
48年目	H 72	0.1353	100.0			3	0.4
49年目	H 73	0.1301	100.0			3	0.4
合計				517	489	147	59
単純事業費計				517		147	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表(事業全体)

箇所名: 東海北陸自動車道(白鳥～飛騨清見)

年次	年度 (基準年) H21	総走行台キロの年次別伸び率 (東海ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
暫定供用開始年次	H 12	1.01103	0.99631	1.00598	1.4233	108.7	26	4	16	46	61	6	1	4	11	14	3	5	60	79
1年目	H 13	1.01091	0.99630	1.00594	1.3686	107.3	33	5	21	59	75	7	1	5	13	17	4	6	77	98
2年目	H 14	1.01079	0.99628	1.00591	1.3159	105.3	35	6	22	63	78	8	1	5	14	18	5	6	82	102
3年目	H 15	1.01067	0.99627	1.00587	1.2653	104.0	37	6	22	63	76	8	1	5	14	17	5	6	82	100
4年目	H 16	1.01056	0.99626	1.00584	1.2167	102.9	35	6	22	63	75	8	1	5	14	17	5	6	82	97
5年目	H 17	1.0105	1.00222	1.00144	1.1699	101.6	40	7	25	72	83	9	1	6	16	19	5	6	93	108
6年目	H 18	1.0105	1.00222	1.00143	1.1249	100.9	42	7	26	76	85	10	1	6	17	19	6	6	99	110
7年目	H 19	1.0105	1.00221	1.00143	1.0816	100.0	44	7	27	79	85	10	1	7	18	19	6	6	103	111
8年目	H 20	1.0105	1.00221	1.00143	1.0400	100.0	61	10	38	110	114	14	2	9	25	26	8	9	143	149
9年目	H 21	1.0105	1.00220	1.00143	1.0000	100.0	64	11	40	114	114	15	2	9	26	26	9	9	149	149
10年目	H 22	1.0105	1.00220	1.00143	0.9615	100.0	66	11	41	118	114	15	2	10	27	26	9	9	154	148
11年目	H 23	1.0105	1.00219	1.00142	0.9246	100.0	68	11	43	122	113	16	2	10	28	26	9	9	160	148
完成供用開始年次	H 24	1.0105	1.00219	1.00142	0.8890	100.0	71	12	44	127	113	16	2	10	29	26	10	8	165	147
13年目	H 25	1.0105	1.00218	1.00142	0.8548	100.0	73	12	46	131	112	17	2	11	30	26	10	8	171	146
14年目	H 26	1.0104	1.00218	1.00142	0.8219	100.0	75	13	47	135	111	17	2	11	31	25	10	8	176	145
15年目	H 27	1.0104	1.00217	1.00142	0.7903	100.0	78	13	49	139	110	18	3	12	32	25	10	8	181	143
16年目	H 28	1.0104	1.00217	1.00141	0.7599	100.0	80	13	50	143	109	18	3	12	33	25	11	8	187	142
17年目	H 29	1.0104	1.00216	1.00141	0.7307	100.0	82	14	51	148	108	19	3	12	34	25	11	8	192	141
18年目	H 30	1.0104	1.00216	1.00141	0.7026	100.0	85	14	53	152	107	19	3	13	35	24	11	8	198	139
19年目	H 31	1.0104	1.00215	1.00141	0.6756	100.0	87	15	54	156	105	20	3	13	36	24	12	8	203	137
20年目	H 32	1.0063	1.00313	1.00145	0.6496	100.0	89	15	56	160	104	20	3	13	37	24	12	8	209	136
21年目	H 33	1.0063	1.00312	1.00145	0.6246	100.0	92	15	57	164	103	21	3	14	37	23	12	8	214	134
22年目	H 34	1.0063	1.00311	1.00145	0.6006	100.0	94	16	59	168	101	21	3	14	38	23	13	8	220	132
23年目	H 35	1.0063	1.00310	1.00145	0.5775	100.0	96	16	60	173	100	22	3	14	39	23	13	8	225	130
24年目	H 36	1.0062	1.00309	1.00145	0.5553	100.0	99	16	62	177	98	22	3	15	40	22	13	7	231	128
25年目	H 37	1.0062	1.00308	1.00144	0.5339	100.0	101	17	63	181	97	23	3	15	41	22	14	7	236	126
26年目	H 38	1.0062	1.00307	1.00144	0.5134	100.0	103	17	65	185	95	24	3	15	42	22	14	7	241	124
27年目	H 39	1.0062	1.00306	1.00144	0.4936	100.0	106	18	66	189	93	24	3	16	43	21	14	7	247	122
28年目	H 40	1.0062	1.00305	1.00144	0.4746	100.0	108	18	67	194	92	25	4	16	44	21	15	7	252	120
29年目	H 41	1.0062	1.00304	1.00144	0.4564	100.0	110	18	69	198	90	25	4	16	45	21	15	7	258	118
30年目	H 42	0.99090	1.00090	0.99427	0.4388	100.0	113	19	70	202	89	26	4	17	46	20	15	7	263	116
31年目	H 43	0.99082	1.00090	0.99423	0.4220	100.0	112	19	70	201	85	25	4	17	46	19	15	6	262	111
32年目	H 44	0.99074	1.00090	0.99420	0.4057	100.0	111	19	71	200	81	25	4	17	46	19	15	6	261	106
33年目	H 45	0.99065	1.00090	0.99417	0.3901	100.0	110	19	71	199	78	25	4	17	45	18	15	6	259	101
34年目	H 46	0.99056	1.00089	0.99413	0.3751	100.0	109	19	71	198	74	25	4	17	45	17	15	6	258	97
35年目	H 47	0.99047	1.00089	0.99410	0.3607	100.0	108	19	71	197	71	25	4	17	45	16	15	5	257	93
36年目	H 48	0.99038	1.00089	0.99406	0.3468	100.0	107	19	71	196	68	24	4	17	45	16	15	5	256	89
37年目	H 49	0.99029	1.00089	0.99403	0.3335	100.0	106	19	71	195	65	24	4	17	45	15	15	5	255	85
38年目	H 50	0.99019	1.00089	0.99399	0.3207	100.0	105	19	71	194	62	24	4	17	44	14	15	5	253	81
39年目	H 51	0.99009	1.00089	0.99395	0.3083	100.0	104	19	71	193	60	24	4	17	44	14	14	4	252	78
40年目	H 52	0.98999	1.00089	0.99392	0.2965	100.0	102	19	71	192	57	23	4	17	44	13	14	4	251	74
41年目	H 53	0.98989	1.00089	0.99388	0.2851	100.0	101	19	71	192	55	23	4	17	44	12	14	4	250	71
42年目	H 54	0.98979	1.00089	0.99384	0.2741	100.0	100	19	71	191	52	23	4	17	44	12	14	4	248	68
43年目	H 55	0.98968	1.00089	0.99380	0.2636	100.0	99	19	71	190	50	23	4	17	43	11	14	4	247	65
44年目	H 56	0.98958	1.00089	0.99377	0.2534	100.0	98	19	71	189	48	22	4	17	43	11	14	4	246	62
45年目	H 57	0.98947	1.00089	0.99373	0.2437	100.0	97	19	71	188	46	22	4	17	43	10	14	3	245	60
46年目	H 58	0.98935	1.00089	0.99369	0.2343	100.0	96	19	71	187	44	22	4	17	43	10	14	3	243	57
47年目	H 59	0.98924	1.00088	0.99365	0.2253	100.0	95	19	71	186	42	22	4	17	42	10	14	3	242	55
48年目	H 60	0.98912	1.00088	0.99361	0.2166	100.0	94	19	72	185	40	21	4	17	42	9	14	3	241	52
49年目	H 61	0.98900	1.00088	0.99357	0.2083	100.0	93	19	72	184	38	21	4	17	42	9	14	3	240	50
合計							4,240	743	2,780	7,763	4,124	966	147	659	1,772	941	582	310	10,118	5,376

便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名:東海北陸自動車道(白鳥～飛騨清見)

年次	年度 (基準年) H21	総走行台キロの年次別伸び率 (東海ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	貨物車類	全車			①計	現在価値 (1)×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×(2)	③	現在価値 (3)×(A)	便益合計 (1)~(3)	割引率4%			
																		乗用車類	小型貨物	普通貨物
完成供用開始年次	H 24	1.00105	1.00219	1.00142	0.8890	100.0	16	2	8	26	23	2	0.3	2	5	4	1	1	32	28
1年目	H 25	1.00105	1.00218	1.00142	0.8548	100.0	16	2	8	26	22	2	0.3	2	5	4	1	1	32	27
2年目	H 26	1.00104	1.00218	1.00142	0.8219	100.0	16	2	8	26	21	2	0.3	2	5	4	1	1	32	26
3年目	H 27	1.00104	1.00217	1.00142	0.7903	100.0	16	2	8	26	21	2	0.3	2	5	4	1	1	32	25
4年目	H 28	1.00104	1.00217	1.00141	0.7599	100.0	16	2	8	26	20	2	0.3	2	5	3	1	1	32	24
5年目	H 29	1.00104	1.00216	1.00141	0.7307	100.0	16	2	8	26	19	2	0.3	2	5	3	1	1	32	23
6年目	H 30	1.00104	1.00216	1.00141	0.7026	100.0	16	2	8	26	18	2	0.3	2	5	3	1	1	32	22
7年目	H 31	1.00104	1.00215	1.00141	0.6756	100.0	16	2	8	26	18	2	0.3	2	5	3	1	1	32	22
8年目	H 32	1.00063	1.00313	1.00145	0.6496	100.0	16	2	8	26	17	2	0.3	2	5	3	1	1	32	21
9年目	H 33	1.00063	1.00312	1.00145	0.6246	100.0	16	2	8	26	16	2	0.3	2	5	3	1	1	32	20
10年目	H 34	1.00063	1.00311	1.00145	0.6006	100.0	16	2	8	26	16	2	0.3	2	5	3	1	1	32	19
11年目	H 35	1.00063	1.00310	1.00145	0.5775	100.0	16	2	8	26	15	2	0.3	2	5	3	1	1	32	19
12年目	H 36	1.00062	1.00309	1.00145	0.5553	100.0	16	2	8	26	15	2	0.3	2	5	3	1	1	32	18
13年目	H 37	1.00062	1.00308	1.00144	0.5339	100.0	16	2	8	26	14	2	0.3	2	5	2	1	1	32	17
14年目	H 38	1.00062	1.00307	1.00144	0.5134	100.0	16	2	8	27	14	2	0.3	2	5	2	1	1	32	17
15年目	H 39	1.00062	1.00306	1.00144	0.4936	100.0	16	2	8	27	13	2	0.3	2	5	2	1	1	32	16
16年目	H 40	1.00062	1.00305	1.00144	0.4746	100.0	16	2	8	27	13	2	0.3	2	5	2	1	1	32	15
17年目	H 41	1.00062	1.00304	1.00144	0.4564	100.0	16	2	8	27	12	2	0.3	2	5	2	1	1	33	15
18年目	H 42	0.99090	1.00090	0.99427	0.4388	100.0	16	2	8	27	12	2	0.3	2	5	2	1	1	32	14
19年目	H 43	0.99082	1.00090	0.99423	0.4220	100.0	16	2	8	26	11	2	0	2	5	2	1	1	32	14
20年目	H 44	0.99074	1.00090	0.99420	0.4057	100.0	16	2	8	26	11	2	0	2	5	2	1	0	32	13
21年目	H 45	0.99065	1.00090	0.99417	0.3901	100.0	16	2	8	26	10	2	0	2	5	2	1	0	32	12
22年目	H 46	0.99056	1.00089	0.99413	0.3751	100.0	16	2	8	26	10	2	0	2	5	2	1	0	32	12
23年目	H 47	0.99047	1.00089	0.99410	0.3607	100.0	16	2	8	26	9	2	0	2	5	2	1	0	32	11
24年目	H 48	0.99038	1.00089	0.99406	0.3468	100.0	15	2	8	26	9	2	0	2	5	2	1	0	31	11
25年目	H 49	0.99029	1.00089	0.99403	0.3335	100.0	15	2	8	26	9	2	0	2	5	2	1	0	31	10
26年目	H 50	0.99019	1.00089	0.99399	0.3207	100.0	15	2	8	25	8	2	0	2	5	1	1	0	31	10
27年目	H 51	0.99009	1.00089	0.99395	0.3083	100.0	15	2	8	25	8	2	0	2	5	1	1	0	31	10
28年目	H 52	0.98999	1.00089	0.99392	0.2965	100.0	15	2	8	25	7	2	0	2	5	1	1	0	31	9
29年目	H 53	0.98989	1.00089	0.99388	0.2851	100.0	15	2	8	25	7	2	0	2	4	1	1	0	31	9
30年目	H 54	0.98979	1.00089	0.99384	0.2741	100.0	15	2	8	25	7	2	0	2	4	1	1	0	30	8
31年目	H 55	0.98968	1.00089	0.99380	0.2636	100.0	14	2	8	25	7	2	0	2	4	1	1	0	30	8
32年目	H 56	0.98958	1.00089	0.99377	0.2534	100.0	14	2	8	25	6	2	0	2	4	1	1	0	30	8
33年目	H 57	0.98947	1.00089	0.99373	0.2437	100.0	14	2	8	24	6	2	0	3	4	1	1	0	30	7
34年目	H 58	0.98935	1.00089	0.99369	0.2343	100.0	14	2	8	24	6	2	0	3	4	1	1	0	30	7
35年目	H 59	0.98924	1.00088	0.99365	0.2253	100.0	14	2	8	24	5	2	0	3	4	1	1	0	30	7
36年目	H 60	0.98912	1.00088	0.99361	0.2166	100.0	14	2	8	24	5	2	0	3	4	1	1	0	29	6
37年目	H 61	0.98900	1.00088	0.99357	0.2083	100.0	14	2	8	24	5	2	0	3	4	1	1	0	29	6
38年目	H 62	0.98888	1.00088	0.99352	0.2003	100.0	13	2	8	24	5	2	0	3	4	1	1	0	29	6
39年目	H 63	0.98876	1.00088	0.99348	0.1926	100.0	13	2	8	24	5	2	0	3	4	1	1	0	29	6
40年目	H 64	0.98863	1.00088	0.99344	0.1852	100.0	13	2	8	23	4	2	0	3	4	1	1	0	29	5
41年目	H 65	0.98850	1.00088	0.99340	0.1780	100.0	13	2	8	23	4	2	0	3	4	1	1	0	29	5
42年目	H 66	0.98836	1.00088	0.99335	0.1712	100.0	13	2	8	23	4	2	0	3	4	1	1	0	29	5
43年目	H 67	0.98823	1.00088	0.99331	0.1646	100.0	13	2	8	23	4	1	0	3	4	1	1	0	28	5
44年目	H 68	0.98809	1.00088	0.99326	0.1583	100.0	12	2	8	23	4	1	0	3	4	1	1	0	28	4
45年目	H 69	0.98794	1.00088	0.99322	0.1522	100.0	12	2	8	23	3	1	0	3	4	1	1	0	28	4
46年目	H 70	0.98780	1.00088	0.99317	0.1463	100.0	12	2	8	23	3	1	0	3	4	1	1	0	28	4
47年目	H 71	0.98764	1.00088	0.99312	0.1407	100.0	12	2	8	22	3	1	0	3	4	1	1	0	28	4
48年目	H 72	0.98749	1.00087	0.99308	0.1353	100.0	12	2	8	22	3	1	0	3	4	1	1	0	28	4
49年目	H 73	0.98733	1.00087	0.99303	0.1301	100.0	12	2	8	22	3	1	0	3	4	1	1	0	27	4
合計							744	96	413	1,253	510	87	13	123	224	90	57	23	1,534	623